

活動レポート

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会幹事長 木本光則

目指せ！ 最年少技術士！！ 工業高校でも実施しています 「技術士を知ろう！ in 北海道札幌工業高校」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)の「技術士を知ろう！」第4弾は、昨年に初めてお邪魔しました北海道札幌工業高等学校の2年生を対象に実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：H29.10.11(水)9:50～11:40

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等

技術士・技術士補の仕事内容と役割

(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：札幌工業高校 土木科2年生78名

参加幹事：小澤、仁田、千葉、永井、平岡、木本(記)

(ミライ研6名)

高田、仁義(青技交2名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

仁田技術士より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上で資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身も高卒で就職し、その後に資格等を取得することで現在の立場になっているという経歴も交えた説明で、就職後の就業イメージや資格の重要性等が伝わったように思います。

4. 技術士・技術士補の仕事内容と役割

(1) 技術士の仕事(高田技術士)

札工OBでもある札幌開発建設部に勤務する高田技術士の講演では、自分の職歴を交えて公務員と

いう立場で取り組んでいる仕事、その中での技術士という資格の役割や重要性などを説明しました。またOBということで自身の学生時代にも触れ、学生時代の教科書は今でも大事に付せんを付けて活用している、学生時代の授業はとても重要な基礎知識になるなどを熱弁。昨年に続く2度目の講演は安定感のあるもので、学生たちは熱心に耳を傾けていました。



写真-1 冒頭の概説を行う仁田技術士と真剣なまなざしが印象的だった学生さんたち



写真-2 OBとして熱く語る高田技術士(青技交 幹事)やはりOBの“生の声”は学生さんに届きます

(2) 技術士補の仕事(仁義技術士補)

続いて清水建設㈱に所属する仁義技術士補から、自身の担当してきた現場での仕事と土木系の技術者を目指したきっかけ等を紹介しました。スケールの大きい仕事で専門的な話になりがちなところ、高校生にも伝わるように、図解や解説等を加えながらの説明。また、女性技術者としての働き方の紹介も交え、土木業界の魅力が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

(3) 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、筆者より土木の仕事全般を対象に2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。様々な仕事があることを知ってもらい、学生たちが自分の将来を考える機会になれば、と考えて用意したのですが、まだ漠然としてしか自分たちの「ミライ」を意識できていない高校2年生には少しでも参考にしていただけたようです。

5. 質疑応答

他校での実施と同様、質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、そのうち何問かを抽出して回答する形で実施しています。

小澤代表の進行で実施した今回は十分な質疑応答の時間が確保でき、OBの高田技術士向けに「札工で良かったなと思うことはありますか」や「技術士試験はどれくらい勉強したか」、仁義技術士補向けには「休みや有給はちゃんと取れますか」や「女性で大変だったこと、よかったことは？」等の質問が寄せられました。それぞれ参加幹事から丁寧に回答し、土木業界の魅力や楽しさが学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

6. まとめ

学生からの感想には「資格取得をしっかりとって仕事に生かしたい。」「技術士についてたくさん知れて良かった。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、69人中64人が「技術士を今回初めて知った」「名前

だけは知っていた」等だったのに対し、72人中53人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また「とてもためになる話だったので良い勉強になった。」「この先の進路について、少しわかった気がしました。ありがとうございました。」といった感想もいただきました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でともに4.5と学生に高評価だったのも一因だったのでは、と考えています。



写真-3 図解や解説を加え、高校生にもわかりやすい講演だった仁義技術士補(青技交 幹事)



写真-4 質疑応答の様子
(左から：高田技術士、仁田技術士、仁義技術士補、スクリーンを挟んで右側：小澤代表)